Balance of FcαRI targeting involves the development atherosclerosis

メタデータ	言語: English
	出版者:
	公開日: 2019-03-20
	キーワード (Ja):
	キーワード (En):
	作成者: 出崎, 雄也
	メールアドレス:
	所属:
URL	https://jair.repo.nii.ac.jp/records/2002291

授与機関名　順天堂大学

学位記番号　甲第 2069 号

Balance of FcαRI targeting involves the development atherosclerosis

（動脈硬化進展における Fcα 受容体の関与）

出崎　雄也（でさき　ゆうや）

博士（医学）

論文審査結果の要旨
本論文は、単量体 IgA（mIgA）が Fc 受容体（FcαRI）の ITAMi（抑制系免疫受容体チロシン基質活性化モチーフ）の活性を介して、動脈硬化進展を抑えられることを、初めて明らかにした臨床的に意義ある論文である。慢性炎症として捉えられる動脈硬化進展における重要な役割を果たす、酸化 LDL 刺激や LPS（Lipopolysaccharide）刺激によるマクロファージ泡沫化現象や MAPK カスケードならびに TNF-α等の細胞炎症分子機序を、mIgA が抑制することを、Oil red O 染色、ウェスタンブロット法、ELISA 法などを用いて示した。特に、FcαRI/FcRγ の細胞特異性と mIgA の抗体特異性も示している。動脈硬化の進展は、高血圧症等の基盤病態であり、早期介入と持続的治療が望まれる病態でもある。本論文は、mIgA が動脈硬化の進展抑制の効果を有する可能性を強く示唆し、今後新規分子標的治療となりうる可能性を示唆している。 よって、本論文は博士（医学）の学位を授与するに値するものと判定した。